

## 情報公開文

### 研究名

当院における腹腔鏡手術：Transvaginal Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery(vNOTES)とTotal Laparoscopic Hysterectomy(TLH)の比較

### 研究の目的・意義

Transvaginal Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery(以下vNOTES)は自然孔である膣口を利用して行う手術のことであり、腹部に切開創ができないため美容面で優れており、また術後疼痛も少ないことが期待されます。2020年1月よりGelPOINT® V-Pathが使用可能となったことを受けて、当院では2022年4月よりvNOTESによる子宮全摘出術を導入いたしました。導入開始後から2023年3月までの1年間の症例に対し、従来の腹腔鏡手術(Total Laparoscopic Hysterectomy、以下TLH)との比較検討を行い手術成績や術後合併症などを比較検討いたします。

### 研究の対象となる方と研究期間

2022年4月から2023年3月までに当院で施行したvNOTESによる子宮全摘出術を行った66例と、TLH97例。

### 研究の実施体制

研究責任者 宇賀神智久

共同研究者 大槻健郎、小針諄也

### 研究に用いる試料、情報の種類

診療録に記録された診療情報を用いた非侵襲・非介入の研究です。匿名化作業を施し、個人を特定できるような情報は一切公開いたしません。研究終了後は5年間データを保存し、その後完全に廃棄いたします。匿名化されたデータはさらなる研究のため関連機関に提供する可能性があります。

### 利益相反

本研究に関して利害関係にある企業はございません。

### お問い合わせ先

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が

論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 産婦人科

研究責任者 宇賀神智久

共同研究者 大槻健郎、小針諄也

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話：022-308-7111(代表)